

第13回北海道・東北社会人アメリカンフットボール王座決定戦、絆ボウル2019が仙台市民球場で16時キックオフで開催された、絆ボウルとしては初めてのナイターでの開催である。

天候は関係者の期待をよそに、キックオフ前から小雨が降り始めた。

ブラックボルツのキックで試合開始、お互い2度のシリーズをファーストダウン更新なしで終える。その後のイーグルスのオフェンス、#9熊谷のランでファーストダウンを更新すると、さらに#28女鹿のランでさらに前進、敵陣に入るも反則により再び自陣へ、結局このシリーズはパントとなるが、スナップが低くパンター#54中村がうまく処理できず、蹴る事ができずにデッド。ブラックボルツは敵陣28ヤードからのオフェンスという先制のチャンスを得たところで1Q終了。

2Qに入り、ブラックボルツは#12小関から#31渡邊へのパスが通り、ようやくフレッシュを獲得。しかしこの後はイーグルスディフェンスが踏ん張りTDを許さず、ブラックボルツ#65野地が22ヤードのフィールドゴールを決め先制する

ブラックボルツのキックで試合再開、イーグルス#1大寄がリターンするもファンブル、ブラックボルツ#5小林（嘉）がリカバーし、ブラックボルツに追加点のチャンスが訪れる。しかしイーグルス#20葛西がブラックボルツ#12小関のパスをインターセプト、追加点を許さない。

しかしブラックボルツディフェンスも堅く、イーグルスは敵陣まで踏み込めない。

再度敵陣からのブラックボルツオフェンスとなるが、イーグルス#54中村がインターセプト、イーグルスはピンチを脱したかと思いきやその後のパントで再びスナップが低く、パンター#54中村が後逸、なんとか蹴ったもののまたもブラックボルツ追加点のチャンスとなる。

ブラックボルツ敵陣28ヤードからの攻撃、#4マイケルのランと#87佐藤へのパスで敵陣1ヤードまで迫るも残り4秒で#65野地が19ヤードFGトライ、これを成功させブラックボルツは6-0でリードし前半を終える。

雨もようやくあがり、イーグルスのキックで後半開始、イーグルスはブラックボルツオフェンスにファーストダウンを許さずパントへ追い込む。自陣28ヤードからイーグルスの攻撃となるが、ここでビッグプレイが飛び出す、#9熊谷がディフェンスを振り切り72ヤードのTDラン、TFPもキック成功でイーグルスが7-6と逆転に成功する。

3Q残り5:26からブラックボルツ自陣11ヤードからの攻撃、#6小林（聖）のランと#12小関のパスを織り交ぜ、ファーストダウンを更新していき、敵陣に入ったところで3Qが終了

4Q引き続きブラックボルツのオフェンスだが、パス失敗が続き敵陣39ヤードでパント、このパントを良いところで抑え、イーグルスは自陣1ヤードからのオフェンスとなる。

ブラックボルツはセフティーで逆転のチャンスだが、ディフェンスが反則してしまい5ヤード罰退、しかしこのシリーズはイーグルスに前進を許さずパントに追い込む。

ブラックボルツは敵陣44ヤードからの攻撃、#6小林（聖）と#45尾形のランで前進していくが、イーグルスディフェンスも踏ん張り、ゴール前16ヤードで4thダウンへ追い込む。

ここでブラックボルツは#65野地による32ヤードのフィールドゴールトライ、しかしこれは外れてしまい逆転ならず。

しかしブラックボルツはイーグルスのオフェンスをキッチリ止め、パントへ。

ここでイーグルスにミスが出る、スナップが反れ、パンターの前の選手にあたってしまい、リカバーした地点でデッド、ブラックボルツはゴール前9ヤードからのオフェンスとなる。

ブラックボルツはこのチャンスを#12小関がランでTD、ついに逆転に成功する。

TDを上げれば逆転まで可能なイーグルスであったが、最後は#9熊谷がファンブル、ブラックボルツ#5小林（嘉）がリカバーし、その後ブラックボルツが時間を消費し試合終了。

13-7で仙台ブラックボルツが2014年以来の勝利をあげた。